

# 福祉・保健・医療・教育の連携した総合的なサービスを提供 愛媛県立子ども療育センター



「少しでも自然や陽光を感じてほしい」と設けられた中庭

東温市田窪。田園と住宅地が広がる静かな一角に、「愛媛県立子ども療育センター」があります。

この施設は、これまで松山市本町の「愛媛整肢療護園」が対象としていた肢体不自由児に加え、重症心身障害児、自閉症児をはじめとする発達障害児など、さまざまな障害を持つ18歳以下の子どもを対象とした、地域療育の拠点として今春開設されました。治療や訓練、教育のほか、在宅の障害児に対するケアやサポート、さまざまな障害や子育ての不安に関する相談にも対応しており、児童福祉施設であると同時に医療機関の役割も担っているのが特徴です。

## 障害のある子どもが抱えるすべての問題に対応

センターは大きく「診療」「入所」「在宅支援」の3部門で構成されています。月～金曜まで開設されている診

理学療法室



療科目は、整形外科・リハビリテーション科・小児科・小児歯科（歯科は火曜日のみ）。医師は現在5人体制で、リハビリスタッフも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそろっています。

施設の2階フロアは、肢体不自由児と重症心身障害児、一般病床の居室・生活スペース。細長いセンターの東西に配置されたナースステーションには、看護師のほかに保育士も常駐し、生活指導や育児全般について気軽に相談することができます。

在宅支援については、主に「重症心身障害児通園事業A型」や「ショートステイ」を行っています。専用の送迎バスや、車いす仕様の介助自動車により、中予一円はもとより、西条市や大洲市からの通園者も受け入れているそうです。

また、隣接の「しげのぶ特別支援学校」に通う児童生

## 愛媛県立子ども療育センター 東温市田窪2135番地 TEL 089-955-5533 (代表)

診療科目：整形外科・リハビリテーション科・小児科・小児歯科

診療日／月～金(小児歯科は火曜日のみ) 診療時間／9:00～12:00・13:00～16:00

入所部門：肢体不自由児施設(定員40人・うち母子室3人)・重症心身障害児施設(定員40人)／一般病床(定員10人)

在宅支援：重症心身障害児(者)通園事業A型(月～金 10:00～15:00・1日利用者15人)／ショートステイ(専用ベッド10床)

学校施設：寄宿舎「なつめの寮」(定員24人)



2台の専用バス(上)と、車いす仕様の介助自動車(下)で、在宅障害児の送迎を行っている

トイレ入口のタッチセンサー



館内に併設されている発達障害者支援センター「あい♥ゆう」



館内各所に子どもたちの作品を展示

1階受付ロビー



徒の生活施設として、寄宿舎「なつめの寮」を併設。センターと学校をつなぐ連絡通路があり、寄宿生は外に出ることなく通学できるしくみになっています。さらに、発達障害に関する相談支援や発達支援、就労支援を行う「発達障害者支援センター」も館内に設置。つまり、「子ども療育センター」は、障害のある子どもが抱えるすべての問題に対応できる機能を有しているといえます。

### 自然が感じられる充実の施設

センターの外観や内部は木をふんだんに使い、明るく温かみあふれる雰囲気。「障害児が利用する場所だからこそ、自然を感じられる健康的な施設に」との意図から、小さな中庭を設けたり、採光に配慮したりと、設計にさまざまな工夫が凝らされています。

設備や機能も充実。タッチセンサー式の多目的トイレ

や浴室、通園児の乗降に配慮した地下駐車場のほか、栄養士の指導のもと、一人ひとりの症状に合った食事を提供する調理室も完備。セキュリティー面においても、安心安全な子どもたちの生活を守るためのさまざまな対策がとられています。

しかし何より欠かせないのは、児童生徒をしっかりとサポートするスタッフの充実です。毎月600人以上の障害児の利用に対し、現在は総勢107名のスタッフがあたっていますが、今後は専門医師や保健士を増員して、バックアップ体制をさらに強化したいといいます。

早期発見・早期治療を基本に、障害児と保護者への支援体制確立を目指す「子ども療育センター」。福祉、保健、医療、教育の連携した総合的なサービスを提供する拠点として、今後ますます大きな期待が寄せられます。